

## 「LOFT GREEN PROJECT」 店舗装飾用タペストリーの循環使用トライアル できることから始める。環境を考えるきっかけに。



株式会社ロフト(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 安藤公墓)は、「**「LOFT GREEN PROJECT “雑貨のチカラで、暮らしと地球をしあわせに。”**」

のスローガンのもと、雑貨を通じ、身近なこととして環境問題に取り組むウェルビーイングな生活に繋がる活動を提案しています。現在全国のロフト8店舗にて株式会社 BP Lab (本社:東京都港区、代表取締役 八代 直樹)が運営する繊維循環プラットフォーム「**BIOLOGIC LOOP**」に参画し、繊維衣類品・繊維製品などの回収を行っています。

この度、ロフトは「**BIOLOGIC LOOP**」との繊維製品循環の新たな取り組みとして、店頭装飾で使用しているタペストリーの廃棄削減を目指し「**店頭使用→回収→脱色→再印刷→店頭使用**」という循環利用トライアルを実施します。

株式会社ミマキエンジニアリング(本社:長野県東御市、代表取締役 池田和明)が実用化に取り組む、印刷済みのポリエステル生地から染料を脱色し、その再利用を可能とする「**ネオクロマト・プロセス**」を試験実用し、2024年11月より池袋ロフトで、再印刷したタペストリーのテスト運用をスタートいたします。今後もタペストリー廃棄削減を目指し、トライアルを続けていく予定です。



<池袋ロフト店頭画像>

### <BIOLOGIC LOOP について>

ファッション産業と消費者を繋ぎ、新しい価値観を創造し、循環型産業へ移行すること、また、リサイクル技術のさらなる研究開発と、ライフスタイル産業全体が製品を再生するサーキュラーエコノミーの実現を目指す、2021年8月よりスタートした繊維循環プラットフォーム。回収された繊維製品は BPLab が契約したりサイクル処理事業所において分別、マテリアルリサイクルにより BPLab が再生活用しています。2022年4月～2024年10月までの累計回収量は 5,038kg。

### <株式会社ミマキエンジニアリングについて>

産業用インクジェットプリンタ、カッティングプロッタ、3Dプリンタおよびそのインク、ソフトウェアの開発・製造・販売・保守を行っています。サイングラフィックス、インダストリアルプロダクツ、テキスタイルアパレルの市場に向け、プリント工程のトータルソリューションを提供することにより、常に「新しさの違い」を届けるイノベーションを目指す企業。

### <ロフト グリーンプロジェクト概要>

ロフトは、セブン&アイグループの事業会社として、グループの環境経営指針である「**GREEN CHALLENGE 2050**」のもと、環境・社会価値創造に向けて、「できることから始める」を合言葉にサステナブルな取り組みを行っています。2021年秋よりロフトのスローガンとして「**「ロフト グリーンプロジェクト」**「雑貨のチカラで、暮らしと地球をしあわせに。」」を社内外に掲げ、雑貨のプロデュースカンパニーとして、環境配慮型の品ぞろえを含め、エシカルな消費に向けて、さらに積極的かつ具体的にウェルビーイングな暮らしに向けたアクションを展開しています。

※このリリースの情報は 2024年11月現在のものです。商品内容・価格等は変更になる可能性があります。